

**国立大学法人長岡技術科学大学の達成すべき
業務運営に関する目標（中期目標）**

国立大学法人長岡技術科学大学 中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

長岡技術科学大学は、主に高等専門学校から学生を受け入れ、社会の変化を先取りする“技学”を創成し、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成する、大学院に重点を置いたグローバル社会に不可欠な大学を目指して教育研究を展開してきた。

第3期中期目標期間では、技学に基づく地域や企業が抱える諸課題解決や、人材育成を先導する大学であるとともに、グローバル化の進展に対応し、強みとなる研究分野を中心に世界の技術科学を先導する、実践的教育研究の世界的拠点大学として、以下の教育研究活動を展開する。

(1) 国際通用性を持つ実践的グローバル技術者育成の推進

海外展開をも可能とする国際通用性を持つ技学に基づく実践的グローバル技術者教育プログラムの整備と、それに基づく国内外での実践的グローバル技術者育成を推進する。

(2) 世界をリードする先進的・創造的研究や分野融合型研究の推進

強みを持つ分野を中心に、世界トップレベルの研究を推進するための研究環境、支援体制を整備するとともに、技学に基づく産業界のニーズを先取りした先進的・創造的研究や分野融合型の研究を推進する。

(3) 海外大学・産業界との強固なネットワークに立脚したグローバル化の推進

技学教育研究の世界拠点として、海外の次世代戦略地域に技学教育研究モデル、産学官連携モデルを展開して、グローバル産学官融合キャンパスの構築を進め、学生・教職員のグローバルな流動性を推進する。

(4) 地域や企業が抱える諸課題解決への貢献

教育研究の成果を社会に還元することで、地域や企業が抱える諸課題の解決や地域が必要とする人材の育成に貢献するとともに、海外戦略拠点とのネットワークにより整備するグローバルな産学官連携環境を地域や企業に提供することにより、地域を世界に繋ぐ役割を果たし、地域活性化・地方創生に貢献する。

中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成28年4月1日から令和4年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科を置くものとする。

大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

- 【01】学部・大学院を通し、地球環境と共生しつつ人類の持続的発展に寄与する技術者を育成する技学教育を継続的に発展させる。
- 【02】本学の特色である学部・修士課程一貫教育をより有効に機能させ、将来にわたって活躍できる実践的・創造的かつ国際性を備えた指導的技術者を育成する。
- 【03】多様な学習歴をもつ入学者に対して、技学実践者としての中核的素養・感性を養う基礎教育を充実する。
- 【04】博士後期課程において、実社会への貢献を強く意識し、高度の学術的知識・能力を備えた技術者を育成する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

- 【05】技学教育の継続的発展のために、全学の教育マネジメント体制を強化する。
- 【06】技学教育を担う教員の教育力向上に向けてFD活動を拡充する。
- 【07】新たな教育内容・教育方法に対応できるよう、教育環境の整備を進める。

(3) 学生への支援に関する目標

- 【08】学生が、本学学生としての誇りと自信を持ってキャンパスライフを過ごせる環境を整備する。
- 【09】学生が高い志を持って就職活動が行えるよう支援を行う。

(4) 入学者選抜に関する目標

- 【10】活力(Vitality)、独創力(Originality)、世のための奉仕(Services)を重んじる「VOSの精神」をモットーに、本学の教育理念に共感を覚え、アドミッションポリシーに則した優秀な学生を多元的に受け入れるため、大学入学希望者の意欲・能力・適性を多面的・総合的に評価する新たな本学独自の個別選抜及び入試広報手法を構築する。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- 【11】「技学」の実践を理念とし、「材料科学」、「制御システム」、「グリーンテクノロジー」などの各研究領域を中心に世界レベルの研究活動を展開し、併せて、産業界のニーズを踏まえた先進的・実践的・創造的研究を推進し、社会的な責任を果たす。
- 【12】国際社会・地域における本学の役割を認識し、社会の発展に貢献するための連携活動を展開し、研究の推進とその成果の社会への還元を進める。

(2) 研究実施体制等に関する目標

- 【13】世界をリードする研究を推進するための研究体制を整備し、社会のニーズや地域貢献にも配慮した弾力的な人材配置と研究マネジメント体制の強化により、研究活動を推進する。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

- 【14】地域創生のため、大学の資源を活用して、地域・社会の発展に貢献する。

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

【15】 技大式教育研究モデルを次世代の戦略的地域に海外展開することにより、海外の教育研究拠点を整備、充実するとともに、ネットワーク形成を行い、グローバル化を推進する。

【16】 国際通用性を兼ね備え、異文化理解の上で解決策を提案できる実践的グローバル技術者を育成するため、質保証を伴う国際連携教育研究を充実・強化する。

(2) 豊橋技術科学大学及び高等専門学校との連携に関する目標

【17】 豊橋技術科学大学や高等専門学校との教育・研究上の多様な交流や連携を推進・強化し、相互の発展を図る。

【18】 グローバル指向とイノベーション指向の人材育成を2つの柱として、三機関（長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、国立高等専門学校）の豊富な国際連携活動、地域に根差した産学官連携の強みを活かし、世界で活躍し、イノベーションを起こす実践的技術者育成改革を推進する。

業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

【19】 本学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する組織運営体制を構築する。

【20】 学長がリーダーシップを発揮し、本学の強み・特色を一層伸長するガバナンスの構築・強化により、社会の変化に適切に対応する法人運営を行う。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

【21】 再定義されたミッション、大学の機能強化構想、高等専門学校の教育改革の動向等を踏まえ、教育研究組織の検証・見直しを行う。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標

【22】 業務の見直しの徹底及びシステム化等を通じ、事務の効率化・合理化を推進する。

財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

【23】 外部資金の獲得や多様な資金調達による自己収入の確保等により、自立的・安定的な大学運営を行う。

2 経費の抑制に関する目標

【24】 予算執行の最適化を促進するため、財務情報等を活用した業務改善を実施し、経費の抑制を行う。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

【25】 学内資源の再配分の取組を推進し、大学が保有する資金や施設・設備等の資産を効果的かつ効率的に活用する。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

【26】大学における教育研究活動の質保証と改善に資する自己点検・評価活動を行い、大学運営の改善に反映させる。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

【27】大学の実情や果たしている機能などステークホルダーが求める情報をわかりやすい形で効果的に発信する。

その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

【28】技学の教育研究拠点にふさわしい、キャンパス環境を整備する。

2 安全管理に関する目標

【29】事故等を回避・軽減するため、安全教育や未然防止方策の充実による安全管理を強化する。

3 法令遵守等に関する目標

【30】研究及び研究者の不正が皆無であるこれまでの実績を継承し実行するため、教育・研究等に関連した法令及び学内規則等の遵守を徹底する。

(別紙)

学 部 等 の 記 載

別表1 (学部、研究科等)

学部	工学部
研究科	工学研究科 技術経営研究科 (R3 募集停止)